

科目	都市情報工学 (Civil and Information Engineering)		
担当教員	三谷 哲雄		
対象学年等	都市工学科・5年・前期・選択・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A3(100%)	JABEE基準1(1) (c),(d)1
授業の概要と方針	都市・交通政策（計画立案，効果予測，評価など）における都市情報を扱う支援ツールの1つとして様々な活用がなされている地理情報システム（GIS）の原理や機能などその概要について学習する．また，都市や交通分野での実際の活用事例を紹介する．パソコンなどの情報機器を使った地理情報に関する簡単な演習や実習を予定している．		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A3】支援ツールとしての地理情報システムの基本構成，データ構造，構築方法などの概要について説明できる。		毎回の講義に関するレポートで評価する。
2	【A3】都市，交通分野での活用可能性について説明できる。		関連分野における地理情報システム活用事例の調査レポートで評価する。
3	【A3】活用技術の修得と都市情報工学全般への応用力を養う。		実際の都市情報を使った地域分析レポートで評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	何回か実施するレポート（宿題）および定期試験により評価する．配点は，レポート（宿題）が30%，試験が60%，日ごろの学習態度が10%程度を基本とする．		
テキスト	配布プリントを基本．補助テキスト「地理情報システム 入門&マスター」 町田 総 山海堂		
参考書	「触って覚えるGIS」 町田 総 山海堂 「地図情報システム入門」 鎌田靖彦 日刊工業新聞 「行政とビジネスのための地理情報システム」 高阪宏行 古今書院 「コンピュータマッピング」 坂内正夫ほか 昭晃堂 「入門地理情報システム」 Jeffrey Star John Estes （岡部篤行訳）		
関連科目			
履修上の注意事項	パソコンを利用した計算演習を伴うので，基本的なパソコン利用スキルは必要．選択科目のリモートセンシングの科目が活用技術の一つとして関連する．		

